

BIN03

# タルブロスグループ

## Talbros Group

[参加予定者]部長  
 [本社]グルガオン（ハリヤーナー州）  
 [他事務所] プネー、チェンナイ他  
 [HP] <https://www.talbros.com/>



自動車用部品一覧



電気自動車用部品



乗用車用部品

- 設立年 : 1956年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 4,000名
- 売上高 : 460億円
- 事業内容 : 自動車部品製造業
- 主要製品 : 自動車部品
- 取引先 : インドおよび海外の自動車メーカー
- 国際認証 : ISO9001、14001
- 日本企業との取引経験 : あり

### 【会社概要】

当社は、グループ5社でインド全土に16の拠点を持つ自動車部品メーカーである。イタリアや日本の自動車メーカー向けサプライヤーとの間で合弁企業や技術ライセンス契約を締結している。インドの乗用車、商用車、電気自動車およびオフロード車および農業機器、2輪車のメーカーにガasket、鍛造品、シャーシ、ステアリングおよびサスペンションなどの部品を供給するとともにドイツや韓国をはじめとして世界25か国に輸出もしている。グループ企業には、Talbros Automotive Componentsに加えて、QH Talbros、Merelli Talbros Chassis Systems、Talbros Meguro Rubber等の合弁会社が含まれる。

### 商談会参加目的

#### ■ 合弁会社の設立

自動車部品メーカーと、合弁企業の設立を希望する。具体的には、インドでのパートナーシップに関心のある日本企業との間で、両社の補完的な強みを活用し、多様な市場と持続可能な成長を実現する競争力のある自動車ソリューションを共同で開発していきたいと考えている。なお、既に日本およびイタリアの自動車メーカー向けサプライヤーとの間で合弁会社を設立しており、それぞれ、23億円、50億円の売上を上げている。

#### ■ 共同開発・技術提携

自動車部品メーカーと、共同開発・技術提携を希望する。現在、日本の自動車部品サプライヤーとの間で、自動車用ヒートシールドおよびボールジョイントの技術ライセンスを締結している。具体的には、インド市場進出に関心のある日本企業との間で、イノベーションを推進し、ローカライゼーションを行い、インドの進化している自動車業界に合わせた費用対効果に優れたソリューションを共同開発し、技術協力を行う機会を模索している。

BIN06

## イルジン・エレクトロニクス

Iljin Electronics India Pvt. Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ノイダ (ウッタール・プラデーシュ州)

[他事務所] プネ、チェンナイ、ベンガルール

[HP] <https://www.iljin.co.in/>

Consumer Durables

Telecomm



Automobile

Smart Electronics



Industrial/Defence



製品/部品ラインナップ  
(上左から) 耐久消費財、  
通信機、自動車部品、ス  
マート製品、産業/防衛

- 設立年 : 2001年
- 資本金 : 79億5,000万円
- 従業員数 : 2,000名
- 売上高 : 420億円
- 事業内容 : 電子機器製品などの製造・販売
- 主要製品 : 家電・通信電子・自動車・産業用電子機器、スマートエレクトロニクス (ウェアラブル、ヒアラブル、セットトップ、ONT、スピーカー)
- 取引先 : 耐久消費財・自動車メーカー、通信・ネットワークプロバイダー等
- 国際認証 : ISO9001、14001、45001等
- 日本企業との取引経験 : あり

## [会社概要]

インドを代表する電子機器製造会社で、OEMおよびODMサービスを提供。当社の研究開発チームは、インドや海外市場向けにローカライズされたソリューションの開発において顧客を支援している。

製品ポートフォリオは幅広く、家電製品、コンシューマーエレクトロニクス、ウェアラブル、ヒアラブル、スマートメーターなどのスマート製品、自動車用制御ユニットおよびICUおよびEV向け電子部品、産業用および防衛用製品と多岐にわたる。インド株式市場に上場しているアンバーグループの一員で、ノイダ、G.ノイダ、プネ、ベンガルール、チェンナイに拠点を置く。

## 商談会参加目的

## ■ 合併会社の設立

インドおよび海外市場向けの製造について以下のようなパートナーとの提携を希望。

- ・インド市場や米国や欧州への輸出のため、中国、ベトナム、日本等から工場を移転したい企業
- ・インド市場への進出を希望しており、スムーズな市場参入のための提携先が必要な企業
- ・インドで電子部品を供給したい企業
- ・より信頼性の高いEMSパートナーを探している企業

製品事業の拡大を計画しており、グローバルブランド顧客の獲得を目指して日本の下記のような先端技術企業と合併事業を設立したい。当社はインド市場を熟知しており、電子機器製造体制も整っている。

- ・自動車用センサー、スイッチ製品、EV関連コントロールユニット
- ・産業用ロボットおよび自動化機器および製品
- ・スマートファクトリー関連のハードウェア、ソフトウェア、システム

産業用・自動車用顧客にハーネスを提供する日本のハーネスメーカーとの合併事業も希望。当社は既にハーネス事業を展開しており、インドで成長を続ける産業用・自動車用顧客へのアプローチが可能。投資規模や場所は未定、商談の進捗に伴って相談に応じたい。

BIN08

# ヴィーナス インダストリーズ

## Venus Industries

[参加予定者]取締役  
 [本社]ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所]ー  
 [HP] <https://konarakmeters.com/>



マルチジェット  
水道メーター



WiFi water meters

High efficiency and reliability.



GSM meters

Easy to install. Self-contained. Reliable.

meter\_15mm\_gsm\_transparent\_bg



スマートAMR  
水道メーター

- 設立年 : 1969年
- 資本金 : 1億5,000万円
- 従業員数 : 200名
- 売上高 : 9億4,000万円
- 事業内容 : 計測機器製造業
- 主要製品 : 水道メーター、ガスメーター、ステッピングモーター
- 取引先 : 政府、地方自治体、ユーティリティ会社
- 国際認証 : ISO9001、14001、CE、FCRIインドライフテスト証明、TUV SUD
- 日本企業との取引経験 : あり

### [会社概要]

当社は、20年以上にわたって水道メーターやガスメーターなどの計測機器製造に携わってきた。高精度の部品を設計・製造し、最大2%の精度のメータを生産している。0.04mm以下の公差で、部品を製造している。現在100万個/月の水道メーターを生産し、インド全土で販売を行っている。環境への配慮とスマートメーターによる水保全の分野における先駆的なイノベーションに焦点を当てており、スマート水道メーターIoT製品とソフトウェアを開発した。顧客の要望に応じて、製品を高度にカスタマイズすることも可能である。

### 商談会参加目的

#### ■ 合併会社の設立

日本企業と合併企業の設立を望んでいる。具体的には、水道メーター、ガスメーター、電気メーター、自動車部品、自動化設備、ステッピングモーター、信号灯などのメーカーなど当社と同じような分野で、同じような目標を持っている企業との間で長期的な関係を築いていくことを希望している。

#### ■ 共同開発・技術提携

当社は、流体フロー計測と計量を行う業界の日本企業との間での技術提携を希望する。技術を共有し、相互の成長のため、長期的に技術提携を行える企業を模索している。また、日本企業に対して、当社の方が価格アドバンテージがあるようであれば、その仕様を満たす部品や製品を競争力のある価格で提供することも可能である。

BIN11

# アクシャル・エアロ

## Axial Aero Private Limited

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ハイデラバード（テランガーナ州）  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://axial.aero>



THE AXIAL AERO 6  
DOF-360°フライトシ  
ミュレーター

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 2億2,500万円
- 従業員数 : 11名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 航空宇宙機器の開発・製造
- 主要製品 : フライトシミュレーター
- 取引先 : インド政府
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

2020年にインド・ハイデラバードで創業した航空宇宙系スタートアップ。元インド空軍パイロットらが設立し、航空・アビエーション分野向けに最先端技術を展開している。少数精鋭ながらも、防衛関連の訓練、商用パイロットの育成、次世代航空システム市場へ向けた高い技術力や有力特許（出願中を含む）を有し、高い成長が期待されている。代表製品のひとつ、THE AXIAL AERO 6 DOF-360° FLIGHT SIMULATORは、高度なモーションキューイングとGフォースフィードバック技術により、ヘリ・ドローン・eVTOLなど、多様な機体の操縦体験をリアルに再現可能である。

### 商談会参加目的

#### ■ 日本企業からの購入

新製品の開発に必要なカスタムパーツを調達するため、高品質・短納期対応が可能な日本企業との取引を希望。通常は10個未満で1週間以内の納期を想定している。

#### ■ 合併会社の設立

航空機、eVTOL、ロケット、電気自動車、ドローン、可視化システム、航空エンジン、ゲームなどを製造する企業との、新製品開発での合併を希望。インドではモノづくりのエコシステムが未成熟なため、一緒に企画、設計し創造できるパートナーを必要としている。今後1年以内に最大100万米ドルまで投資を行う用意があり、インドと日本の両方に進出可能。シンガポールと米国も候補地である。

#### ■ 共同開発・技術提携

主に航空宇宙・防衛分野において、革新的マインドセットを持ち、意欲のある日本企業を探している。新しいアイデアや新製品について議論し、迅速にプロトタイプを製作したい。アイデア創出段階から開発完了まで、半年～1年を想定している。なお、当社の製品は通常、1ユニットあたり50万～1億米ドルの範囲で、サブシステムは1万ドルから500万ドルまで様々である。日印両国そして世界へ向けて、次世代の航空宇宙・防衛製品における革新、設計、開発をどうすれば共同で実現できるかを示していきたい。日本はインドの長期的なパートナーとみなされているため、日印の提携に強い関心を持っている。

BIN16

# SFOテクノロジーズ

## SFO Technologies Pvt Ltd

[参加予定者] 部長  
 [本社] コチ（ケララ州）  
 [他事務所] 日本  
 [HP] <https://sfotechnologies.net/>



製品ハードとソフト



垂直統合型製造

左：板金  
 右：ケーブル  
 左下：PCBA  
 右下：高度組立試験

- 設立年 : 1990年
- 資本金 : 13億5,000万円
- 従業員数 : 7,000名
- 売上高 : 471億円
- 事業内容 : 多業種へのODM製造・販売
- 主要製品 : PCBA、電源、光ファイバー等
- 取引先 : 医療機器メーカー、防衛・航空メーカー、情報通信機器メーカー等
- 国際認証 : ISO9001、13485、14001、CMMI V2.0 ML5、ISO26262:2011等
- 日本企業との取引経験 : あり

### [会社概要]

1990年設立。航空宇宙・防衛、通信、エネルギー産業、ヘルスケア、輸送など、幅広い業界にトータルODM Plusソリューションを提供している。独自のIP、すぐに使用可能な製品ビルディングブロック、IoT、アナリティクス&モビリティ、クラウド、AI、GIS、エンタープライズソリューション、データウェアハウス、ビジネスインテリジェンスといった関連技術の専門知識を融合させ、OEM顧客に付加価値を提供。独自の付加価値エンジニアリングで、日本企業の陳腐化防止、機能追加、サブシステムの代替、既存のフィールド問題の解決、RoHS指令への準拠、BOMコストの削減、そして製品寿命の延長といったニーズにも対応が可能。

### 商談会参加目的

#### ■ 合併会社の設立

日本国内の顧客向けにアプリケーション、IoT、クラウドの開発を行っており、事業拡大が思うように進んでいない中小規模のソフトウェア企業を探している。合併の目的は、日本企業に投資し競争力を高めること。ターゲット市場は医療、産業、自動車分野で、事業範囲は製造、販売、事業開発まで幅広く考えている。投資額は企業規模により異なる。日本の主要都市に合併会社を早期に設立したい。

#### ■ 共同開発・技術提携

インドの半導体産業はまだ歴史が浅く、インドでの製造拠点設立にあたり技術提携を必要としている。技術提携の範囲は、製造ラインの立ち上げ、量産、およびプロセス技術。当社は2,500人のエンジニアを擁し、ターゲット市場はインド国内の半導体部品購入企業である。半導体チップのパッケージングと製造後のテスト分野に関心が高い。

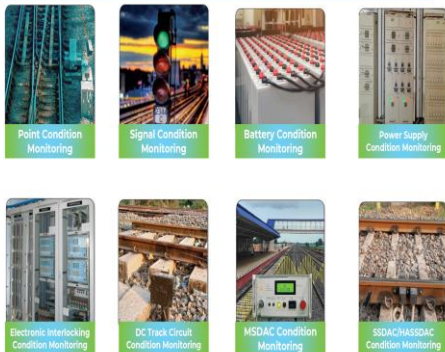
BIN17

# エフトロニクス システムズ

## Efftronics Systems Pvt. Ltd

[参加予定者]代表取締役  
 [本社]グンツール（アンドラプラデーシュ州）  
 [他事務所]ー  
 [HP] <https://www.efftronics.com>

### Remote Diagnostics and Predictive Maintenance



### リモートモニタリングシステム

### Smart Water Management

Our installations: at Hyderabad Division, NTPC Solapur, Vijayawada Municipal Corporation



Dashboard implemented at Vijayawada Municipal Corporation, NTPC Solapur, Khargone



### スマート水道事業

- 設立年 : 1985年
- 資本金 : 2,800万円
- 従業員数 : 927名
- 売上高 : 33億2,800万円
- 事業内容 : 法人向けITサービス業
- 主要製品 : データロガー、鉄道事業者向け安全運航システム、LED信号
- 取引先 : インド鉄道
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : あり

### [会社概要]

当社は搭載システム、IoT、AI対応プラットフォームを専門とする研究開発主導のテクノロジーソリューションのパイオニア企業である。これまでにインド鉄道、スマートシティなど大規模な政府プロジェクトに参画してきた。当社の強みはハードウェア設計やファームウェア開発から高度なソフトウェアやリアルタイム分析までエンドツーエンドのソリューションを提供できることにある。当社はデータロガー、フェイルセーフシステム、ヘルスモニタリングデバイスを導入し、現場の知見と最先端のイノベーションを組み合わせることができる。世界クラスの製造施設、コンプライアンス基準、独自開発力に支えられてスマートで安全なソリューションを提供している。

### 商談会参加目的

#### ■ 合併会社の設立

高度なコンポーネントまたはシステムレベルの専門知識を持つ日本企業を求めている。特に、スマートモビリティ、スマートシティ、インテリジェントトランスポーテーションにおける次世代ソリューションの共同開発を行う合併事業を立ち上げたい。

#### ■ 共同開発・技術提携

既存のソリューションの機能とパフォーマンスを向上させるため、コンポーネント、センサー、組み込み技術を提供してくれる日本企業と共同開発を進めたい。技術協力を通じて製品提供を相互に充実させ、イノベーションサイクルの迅速化と新市場への参入を容易にすることが目的である。特に、センサーフュージョン、エッジコンピューティング、高信頼性組み込みシステムに取り組み企業に関心がある。

BIN21

# FNB ニーズ フーズ

## FNB Needs Foods Pvt Ltd.

[参加予定者]部長  
 [本社]ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所]ー  
 [HP] <https://www.fnbneeds.com/>



Spices, Groceries, Peeled onion,  
Peeled garlic, Shredded coconut.

スパイス、食材



Dairy Products (Paneer, Khova,  
Ghee, Butter)

乳製品

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 300万円
- 従業員数 : 15名
- 売上高 : 9,000万円
- 事業内容 : 食品加工業
- 主要製品 : 乳製品、食材
- 取引先 : ホテル、レストラン、ケータリング業者
- 国際認証 : FSSAI
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

料理の専門家が食材を調達する方法に革命を起こす、先進的なフードサービスプロバイダーである。レストラン、ホテル、ケータリング業者向けに特別に調整され、すぐに使用できるプレミアム食品の必需品を提供している。それにより、顧客のキッチンのワークフローを簡略化し、調理体験を改善するとともに、高水準の味と妥協ない品質を実現し、料理の創造性と顧客満足度を上げることを目指す。当社は、急速に進化する食品業界のニーズを深く理解したうえで、一貫性があり、効率的で、一流の食材ソリューションを提供する、信頼できるパートナーとしての地位を確立している。

### 商談会参加目的

#### ■ 日本企業からの購入

日本企業から高品質な食品を調達したい。具体的には、レストランやケータリングで使用されるソース、調味料、その他の食材を探している。本格的な日本の味を、すぐに使用できる食品に取り入れながら、顧客に、迅速かつ高品質なサービスを提供したい。そのためには食品安全基準を満たし、大量に供給できる信頼できるパートナーと、商品の詳細、パッケージ、納期について、具体的に相談したい。

#### ■ 共同開発・技術提携

食品技術、包装、あるいは成分開発に優れたスキルを持つ日本企業と技術提携を行いたい。具体的には、食品の品質、鮮度、賞味期限を向上させるための協力を仰ぎたい。アイデアを共有し、お互いの強みを活かして、新しい商品を共同で開発し、日本の食のイノベーションと既製の食品ソリューションを組み合わせ、世界中のレストランやフードサービスビジネスのためより利便性の高い商品を開発していきたい。

#### ■ 日本企業への生産委託

高品質な食材、調味料、調理技術を有する食品会社と協業したい。具体的にはソース、マリネ、味噌、海藻製品、カット野菜やたんぱく質のメーカーよりOEM供給を受け、本格的な日本の味と技術を取り入れていきたい。今回の商談を通じて、外食産業に合わせたカスタマイズオプションや、バルク購入に加えて、製品開発に関するイノベーションについても話が出来ればと考えている。